

## 議事録

### 第4回日本カザフスタン経済官民合同協議会

2013年2月18日、東京において、第4回日本カザフスタン経済官民合同協議会（以下「本協議会」という。）が、日本カザフスタン経済委員会及びカザフスタン日本経済委員会の第13回合同会議を兼ねて、開催された。

本協議会の議長は、佐々木伸彦日本国経済産業省経済産業審議官とジャクサリエフ・パフィットジャン・カザフスタン共和国産業新技術省次官とが務めた。また、副議長を中原秀人・日本カザフスタン経済委員会会長とエシムベコフ・サブル・カザフスタン日本経済委員会会長が務めた。

また本協議会には、両国の政府及び経済界から多くの参加者（別添1）を得た。

本協議会では、プログラム（別添2）に従い、以下のとおり協議し、別添3に示す一連の署名文書に調印した。

#### 1. 日本カザフスタン経済関係発展における優先課題と重点分野ー共通理解の構築に向けて

双方は、両国間の経済関係の現状と、その発展のためにこれまでなされてきた一連の取組みに鑑み、今後、更なる関係発展を図る上で、優先課題と重点分野について不断の対話を構築することが必要であるとの認識を共有した。

双方は、産業・イノベーション協力の発展および投資促進が両国にとって重要であることを確認した。

双方は、2012年5月1日に署名された「日本国経済産業省とカザフスタン共和国産業・新技術省との覚書」の添付書類である「経済・投資関係促進ロードマップ」（以下、「ロードマップ」という。）の内容の継続的更新作業が行われていることを確認した。

双方は、互恵的相互経済協力を引き続き発展させていくため、貿易・投資の発展に寄与する一連のプロジェクトが重要であると認め、「ロードマップ」に記載されたプロジェクトの実現と、「ロードマップ」の更新を今後とも実現していくことの重要性を確認した。日本側は、外交ルートを通じてロードマップの追加修正案を近日中にカザフスタン側に送付すること、カザフスタン側は可及的速やかにそれに回答する用意があることを伝えた。

##### 1-1 投資分野における協力

双方は、日・カザフスタン投資協定の実質合意を歓迎し、速やかな協定署名の重要性を強調した。

双方は、両国間の貿易・投資の拡大に向け、カザフスタンにおける経済分野でのプロジェクト実施のために日本企業が雇用する高度な能力を有する管理者・技術者等の就労に関する制度の改善を含め、引き続き必要な環境整備を図ることの重要性を再確

認した。

カザフスタン側は、カザフスタン国家産業・イノベーション発展プログラム等に基づき、日本と優先的に協力を推進すべき重点分野及びプロジェクトを日本側に示すとともに、日本の企業を誘致することに関心を示した。

## 2. 資源開発分野における協力の発展

双方は、ウラン、レアアースを含むレアメタル、及びその他の金属等の地下資源の開発・加工、特に加工の高度化に関する協力関係の発展の可能性についての見解を共有した。

双方は、鉱物資源分野における協力の発展テンポに満足の意を表し、日カザフスタン合弁企業「SARECO」社の分離精製工場が2012年11月に開所したことを歓迎した。また、双方は本プロジェクトが、レアアース鉱物資源の開発、高付加価値化、その資源および製品の安定供給の実現に繋がることを認識した上で、本プロジェクトの成功裡の実施が2015年に向けてカザフスタン国内での分離生産を可能とし、更に数年後には、レアアース鉱物を基礎として様々な製品の生産が可能となるよう、企業活動を活性化するために努力することを確認した。

双方は、カザフスタンにおける資源の共同開発及びその加工製品の日本への供給を促進することを表明し、先端イノベーション技術の移転の特別な重要性を認識した。

## 3. イノベーション技術及び産業協力の発展

双方は、IT、通信、工作機械、ロボット産業、宇宙開発、医療及びバイオテクノロジーを含むイノベーション分野において、相互協力を発展させ、緊密なパートナー関係を構築する可能性についての見解を共有した。

カザフスタン側は、科学技術及びイノベーション分野における相互協力発展のため、技術診断に従事している日本の団体・企業との間で先進的な経験の交流を行うことに関心を示した。

カザフスタン側は、科学技術フォーサイト、科学技術政策及び発電分野の基礎研究の応用に関する指標の研究を含む分野における協力並びに日本の省エネ技術、再生可能エネルギー、バイオ発電、高効率石炭火力発電技術を対象とする系統的学習といった形態でカザフスタンの技術者の教育を日本において行うことを提案した。

双方は、カザフスタン政府とトヨタ自動車がかザフスタン国内での自動車のノックダウン生産を行う契約を締結したことを歓迎した。

### 3-1 交通分野

双方は、恒常的相互協力の発展の一環として、インテリジェント交通・輸送システム（ITS）の普及および輸送ロジスティクスの分野において導入実績についての交流を行うことに関心を示した。

カザフスタン側は、インテリジェント交通・輸送システム（スマートウェイ）を構築するにあたり、日本の技術を利用することに関心を示し、この分野において日本側と協力する用意があることを示した。

カザフスタン側は、カザフスタン国内にインテリジェント交通・輸送システムを構築することに関する覚書草案を日本側の検討に向けて手交する旨を通知した。

### 3-2 保健分野

双方は、保健分野における協力を活発化することに同意した。カザフスタン側は、健康、診断（研究所）、医療（臓器移植、がん治療研究等）、医療従事者の資格向上の分野の研究及びイノベーション技術と投資の導入に特段の関心を有した。

## 4. 環境・エネルギー分野における協力の発展

双方は、環境・省エネルギー技術、再生可能エネルギー及び代替エネルギー、バイオエネルギー及び原子力発電に関する相互協力と緊密なパートナー関係の発展の重要性についての見解を共有した。

カザフスタン側は、「グリーン」テクノロジーの移転及びカザフスタンの「グリーン」エコノミーへの移行への支援を目的とする「グリーンブリッジ」パートナー・プログラム実行の枠内におけるより緊密な協力を呼びかけた。

カザフスタン側は、2017年、アスタナにおいて国際専門分野見本市「エクスポ・未来のエネルギー」の開催を予定していることを通告し、「グリーン・テクノロジー」分野における日本の協力を活発化するよう要請した。

### 4-1 原子力エネルギーの平和利用の分野での協力

双方は、原子力エネルギーの平和利用の分野での協力を継続することの重要性を確認した。

双方は、両国の互恵的協力を発展させるために、カザフスタン共和国産業・新技術省と日本の経済産業省の間で原子力エネルギー利用分野における協力に関する覚書を作成及び調印する可能性を検討することに同意した。カザフスタン側は、日本側の原子力発電所の建設及び運転の豊かな経験を評価し、カザフスタン共和国の原子力発電の導入・発展に関する日本との協力に関心を有していることを表明した。

## 5. カザフスタン地方開発における協力発展の可能性

双方は、カザフスタンの地方開発に関連したインフラ整備、産業振興、中小企業育成が新たな協力分野として今後の両国間の貿易・投資関係発展に貢献する可能性について、理解を共有した。

## 6. 民間航空分野における協力

カザフスタン側は、両国実業界間の協力拡大に資する日本への直行便開設の可能性を検討する。

## 7. 技術及び教育分野における協力

カザフスタン側は、カザフスタンの中小企業家のための日本の同業種の企業での実務研修の実施の可能性に関心を示すとともに、日本企業における教育研修の実施を含む、カザフスタン共和国の国家教育プログラム・センター「ボラシヤク」との協力の促進の可能性について検討するよう提案した。

カザフスタン側は、両国の科学技術分野の協力について協議する日本カザフスタン科学技術協力委員会の設置の重要性に特別な注意を喚起した。

### 7-1 日本の政府事業「地球規模課題対応国際科学技術協力」(SATREPS)プログラムへのカザフスタンの参加

カザフスタン側は、日本の政府事業「地球規模課題対応国際科学技術協力」(SATREPS)プログラムへの参加に関心を示し、日本側での審査のためカザフスタン共和国政府の名で申請書を提出した。

## 8. ビジネス分野における協力

双方は、両国の企業家団体による協力の活発化することが有益であると指摘し、カザフスタン共和国商工会議所とロシアNIS貿易会の相互協力が今後も発展することに関心を示した。

協議会において、カザフスタン側は、カザフスタン・日本経済合同会議を改組し、カザフスタン・日本ビジネスカウンスルという新たな組織とすることについて提案を行い、日本側はこれに関心を示し継続的検討課題とする意思を表明した。

## 9. 第5回協議会の開催について

双方は、両国の官民が参加する本協議会の重要性に鑑み、第14回日本カザフスタ

ン経済合同会議を兼ねた第5回協議会を、2014年にカザフスタンにおいて開催する方針で一致し、具体的な開催日程は外交ルートで協議することとした。

本議事録は、日本語、ロシア語の二か国語によって、2013年2月18日、東京において署名された。

---

日本カザフスタン経済官民合同協議会  
日本側議長  
経済産業省経済産業審議官

佐々木 伸彦

---

日本カザフスタン経済官民合同協議会  
カザフスタン側議長  
産業・新技術省次官

ジャクサリエフ・バヒトジャン